

湖南省少年センターだより

(湖南省少年センター・あそぶる湖南)

【住所】湖南省石部中央一丁目1番1号 西庁舎別棟2階
 【悩み相談】Tel 77-7053 FAX 77-7059
 【e-mail】ask-7053@city.konan.shiga.jp



みんなが振り返って

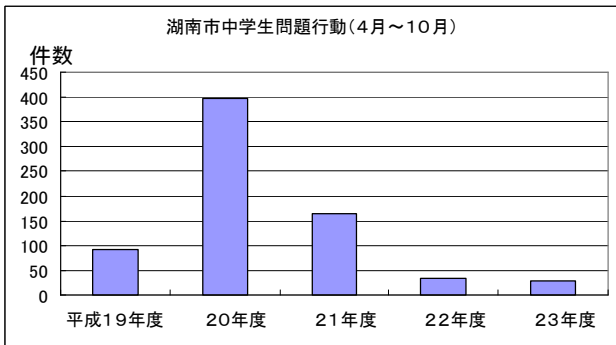
湖南省教育研究会

中学校生徒指導部会長

井澤 善雄



湖南省の小・中学校生徒指導部会では年4回の主任・主事会を開催しています。各学校の現状報告とその取り組みを紹介しながら児童・生徒の問題行動の撲滅を目指した話し合いをしています。この部会を担当して数年になりますが、問題行動は全体として年々減少傾向にあることを嬉しく思っています。下のグラフにもありますように中学校において減少しています。しかし、今もっとも心配されるのが「いじめ」の問題です。残念なことには昨年は県内中学校において「いじめ」が原因と思われる自殺や傷害事件で生徒が逮捕されるといった事案も起こっております。どこに問題があるのでしょうか。「いじめ」問題については100



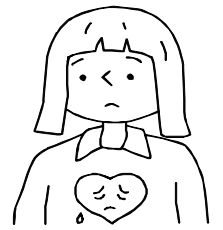
湖南省教育委員会学校教育課調べ

%いじめた側に非があることは言うまでもありません。しかしそのような状態になるまでに、いじめた側もいじめられた被害者にもさしのべる手立とはなかったのでしょうか。どこの指導が十分でなかったのか考えさせられます。学校でもいろうんな問題行動に対しその都度指導はしています。しかしその指導も通り一辺倒のうわべだけの

指導になっ
てはいいか。
心に訴える
指導であっ
たのか。問
題が起きた
時だけの指導になり、普段から生徒一人一人を理解した上での指導になっていったのか。ダメなことはダメと毅然とした態度で指導出来ていたのか。生徒から信頼される教師であったのか等、考え直さねばならない事も多いように思います。

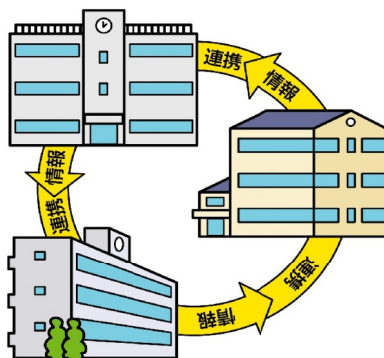
子ども達も、なかなか非が認められずに言い訳ばかり繰り返して、素直になれない実態もあります。教える者に威厳がなく、教えられる者に謙虚さがなくては教育は成り立ちません。私も教師の一人としてしっかりとした指導が出来ていたのか反省しています。

一方、学習は「塾」、躰は「学校」という極端な考え方の保護者や、学校や塾にさえ行っていけば安心し、全てを外に投げ出している家庭はないでしょうか。子どもが問題行動を起こした時、「叱ること」は出来ても、「諭すこと」の出来ない保護者が多くなってしまうようにも思います。また、「自分の子は友達に誘われてやっってしまったようにも思います。また、ありうちの子ではない」と言わんばかりの方もおられます。更に、周りを見る事ができず、自分の子のことしか考えられない親や自分の子さえよければといった「自己



中心」の親が多くなった実態もあります。このように考えられる要因はいくつもあります。しかし、大切なのは責任を他に転嫁するのではなく、それぞれの立場の者がそれぞれで行ってきた子育てや指導が本当にこれでよかったのか等みんなが振り返ってみる必要があるのではないかと考えています。

地域も保護者も学校も全てが子どもの幸福を願っている事には違いありません。今まで行ってきた指導も幸福を願うが故の行動であったことも理解出来ます。しかしそれが十分に実を結ばなかった点について、みんなが振り返ってみなければならぬと思います。



みんなが安心して暮らせる社会を目指し、学校でも体験活動や道徳の授業を通して人の痛みが分かる生徒や助け合うことのできる集団づくりに力を注いでいます。今後とも地域、保護者のみなさんのいっそうのご支援と協力を賜り、自分の子だけでなくみんなが健全に育つ社会を築いていかなければならないと思います。

あすくる湖南

『あすくる湖南』では、少年や保護者からの悩みの相談を気軽に受け付けています。次のようなことで悩んでおられる方、気軽にご相談下さい。

- 少年の非行や問題行動
- 無職少年に関する事
- その他少年に関わる事

仕事をやめたけど新しい就職が決まらない、高校に行ったらけど進路変更をしてやり直したい、資格を取りたいが方法が分からない、など自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年には、自分自身を見つめ直し、自分の課題を克服しながら社会に適応して生活できるように支援が必要です。



就学支援



資格を取得した少年にたこ焼きパーティーでお祝いました。

「あすくる」とはそんな少年に地域の学校（あすくる）として「明るい明日が来る」ようにという願いを込めてつけられた呼称です。

昨年一年間であすくる湖南に寄せられた相談件数は二三九三件ありました。無職少年44%、高校生38%、そして有職少年が13%でした。今年も12月までに一六六九件あります。

新春・挑戦・自信



日本を震撼させた東日本大震災。今、なお続く被災地の人々の闘い。国・地方公共団体や多くの企業の復興施策。一方、その枠を越え、震災復興に立ち上がる数多の人たち。スポーツ選手や芸能人、また多くの民間人・民間団体などのボランティア活動と、全てが日本復興へ向け、間断の無い日々が続いている。スポーツは、逆境にあることにより、そこから立ち上がることを教えてくれ、そこから、多くの課題を知ることができる。課題克服過程において、仲間との協力、指導者との人間関係などを学び、成長する過程において自信を身に付け、困難にも挑戦する能力が備わっていく。結果として、スポーツは勝敗を通して、一人の人間としての成長に貢献していくものである。

今年も、辰年。飛龍のごとくスポーツに飛び込もう！
トレーニングで超回復を体験し、成長を感じよう！

- <トレーニングのいいところ>
- ・成果が目に見えてわかる！！（満足感）
- ・一つのトレーニングに集中する！！（集中力）
- ・運動することでストレス解消！！（爽快感）
- ・目標をかかげ、それを達成する！！（達成感）



スポーツ会館でのトレーニング

★滋賀県立スポーツ会館では、初心者から競技者まで対応したトレーニング講習会や各種体力測定なども行い健康アップ体力アップを支援しています。詳しくは、

（財）滋賀県体育協会 滋賀県立スポーツ会館
（Tel）077-522-0301（Fax）077-522-9639（HP）://www.bsn.or.jp/spokan/

薬物乱用防止活動表彰

湖南省少年センターは、長年におよぶ薬物乱用防止運動の推進に寄与したとして、滋賀県薬物乱用防止対策推進本部の表彰していただきました。



甲津弁護士をお迎えしての補導委員研修会が開催されました。



児童虐待防止啓発活動の看板を設置しました。

相談や悩みごとは、お気軽に

湖南省少年センター（あすくる湖南）に

電話 77-7053
FAX 77-7059
E-mail ask-7053@city.konan.shiga.jp

〒520-3195 湖南省石部中央一丁目1番1号
西庁舎別棟 2階

なや かか こ
悩みをひとりで抱え込まないで!!

